

(様式 1)

令和 7 年度 学力向上を図るための全体計画

学校名	墨田区立横川小学校
校長名	森 村 聡 彦

1 本校の学力に関する状況

(1) 墨田区学習状況調査結果から

成 果	課 題
・算数は今年度の 5 年生を除き、過去 6 回の調査で全学年が全国平均値を上回っている。 ・国語は今年度の 6 年生を除き、過去 6 回の調査で全学年が全国平均値を上回っている。 ・理科は 5, 6 年生は全国平均値に達していないもの、得点が上昇しており、4 年生は大幅に全国平均値を上回った。 ・6 年生は英語で、昨年に引き続き全国平均値を上回った。	・社会は 5 年生が昨年度より 2, 3 ポイント上昇したが、歴代の 6 年生は過去 6 回の調査で 4 回全国平均値を下回っている。知識の定着が重要な課題である。 ・同一集団の経年変化を見ると、現 6 年生は国語、社会、算数、理科の正答率が年々下がっている。学年集団としては授業規律は安定しているので、進学に向けて、自ら学ぶ目的意識や意欲をもたせたい。

(2) 意識調査結果から

成 果	課 題
・「規範意識」の標準スコアは、全ての学年で全国平均とほぼ同じか上回っている。 ・「学級の絆」の標準スコアは、4, 5, 6 年生で全国平均を大きく上回っている。	・「学習習慣」は、5, 6 年生で全国平均を下回っている。学ぶことの意味を理解させ、家庭学習課題などの意欲向上に努めたい。 ・生活指導上の大きな課題はみられない。学校生活で成功体験を重ねさせ、自己肯定感を高くさせたい。

(3) 墨田区学習状況調査や意識調査以外から明らかになっている学習に関する状況

成 果	課 題
・高学年児童の授業規律や学校生活の規範意識が引き続き安定して育てられており、中・低学年を含めて学校内の学級が落ち着いて学習に集中できる環境にある。 ・D, E 層の児童も、おおむね課題に真剣に向き合って最後まで学習に取り組んでいる。	・学習や学校行事などの活動に対して最後まで真面目に取り組む態度を養いたい。「一生懸命は、カッコいい」という大切な価値観を着実に全校児童に身に付けさせたい。 ・都立私立中学校進学率は過去 3 年間 24 % 前後で、地元公立中学校への進学が多い。その先にある高等学校や専門学校、大学への進学など、自ら学ぶ目的意識や意欲をもたせたい。

2 本年度の学力向上に関する主な取組

(1) 読書および家庭学習・自主学習の一層の強化充実

○読書習慣を定着させ、読解力能向上に努める。

- ・ 共通理解のもと、朝読書を週2回どの学級でも必ず実施する。全校が静寂の中で本の世界に集中する時間を創出し、学習への集中力を育成して今後も継続して読解力の育成に努める。
- ・ 教室や学校図書館の在庫充実に努める。

○中学年までに家庭学習の習慣化と、保護者との連携をすすめる。

- ・ 家庭での読書の習慣化や、課題の提出などに保護者の協力を依頼する。

(2) 算数・国語の基礎学力の維持と学習に取り組む態度の向上

○年間2回の算数コンテストと漢字コンテストの実施で、基礎学力を定着させ、応用学習への動機付けを行う。

- ・ 6年…小テストを行い、間違えた問題を類似問題で復習。満点の児童は、別課題を自主学習。
- ・ 1～5年…復習問題を学習。(ミライシード、ふりかえりシート、まるぐランド)
- ・ D, E層の児童に対して、持続できる無理のない範囲で放課後の短時間を確保して補習。
- ・ 「放課後まなび塾」、「放課後チャレンジ教室」を行い、算数の基礎学力の定着を図る。

(3) 現在整っている授業規律のアドバンテージを生かして、メタ認知を育む

○見通しをもって学習する態度や習慣を育成する。

- ・ 与えられる課題の学習から、自分に合った課題を選択して自主学習できるようにする。
- ・ 単元別的小テストを行う → 間違えたところを復習する → 類似問題を解いて確認する

○できるようになったことの確認をする。

- ・ ふりかえりシートで自己の努力や成長の確認
- ・ 分からないところの確認と分析

3 「令和8年度 墨田区学習状況調査」における目標

(1) 目標

- ・ 理科、社会の全学年の正答率が、**全ての観点で**全国標準スコアを**5ポイント**上回るよう、課題を克服し、学力の定着と充実を図る。
- ・ 「**一生懸命は、かっこいい**」という、**大切な価値観と最後まで諦めない姿勢**を全ての児童に身に付けさせる。